

科目名		日本語・日本文化論				英文表記		Japanese and Cultural Theory		平成25年5月31日	
科目コード		6003									
教員名:澤井 万七美 技術職員名:										修正	
対象学科／専攻コース						学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科						専1	選	学修	2単位	講義	前期
科目目標		「地域活性化」を軸に、3つのテーマに取り組む。 ①地域活性化のための基礎知識を学ぶ。 ②活性化のためにどのように地域を語る／PRするか、実例をもとに考察する。 ③地域活性化を目的とした新しい事業／製品／プログラムを提案する。									
総合評価		【企画プレゼンテーション】(40%)および【期末に提出するレポート】(60%)によって評価する。									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)					達成度目標の評価方法				目標割合	
	① 地域活性化のための基礎知識を学ぶ。 (機械システム工学C-1,C-4 情報通信システム工学A-1 メディア情報工学C-1,C-4 生物資源工学B-1,C-2)					⇒ レポートによる評価				10%	
	② 活性化のためにどのように地域を語る／PRするか、過去の事例をもとに考察する。。(機械システム工学C-1,C-4 情報通信システム工学A-1 メディア情報工学C-1,C-4 生物資源工学B-1,C-2)					⇒ プレゼンテーションとレポートによる評価				20%	
	③ 沖縄の活性化を目的とした新事業を提案する。。(機械システム工学C-1,C-4 情報通信システム工学A-1 メディア情報工学C-1,C-4 生物資源工学B-1,C-2)					⇒ プレゼンテーションとレポートによる評価				70%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学		
				◎	JABEEプログラム教育目標	C-1,C-4	A-1	C-1,C-4	B-1,C-2		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合											
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック			
評価項目			0	0	60	40	100				
基礎的理解					10	10	20				
応用力(実践・専門・融合)					20	10	30				
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					20	10	30				
主体的・継続的学修意欲					10	10	20				
授業概要、方針、履修上の注意		前半期間(科目目標①②に相当)は、主に講義形式をとる。なお、②に関する学びの一環として、宜野座村文化センター「がらまんホール」プロデューサーによる特別講義を組み入れる予定。また、希望者が一定数集まれば、「がらまんホール」のバックステージツアー(土日いずれか)を行う可能性もある。 後半期間(科目目標③に相当)は、前半部分で得られた情報に加え、各自リサーチを行ったうえ、「地域活性化」を目的とした新事業の企画の提案を行う。企画書の書き方・モデルケースを学びつつ、自分の考えを表現する力を磨く。									
教科書・教材		教員作成資料・外部講師レクチャー(＋現地見学)									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス／地域活性化事	2	授業の進め方／地域活性化とは		
2	地域活性化事業(2)	2	事例研究 ―施設・イベント・ネットワーク―	各事例の 補足デー タをチェッ ク	
3	地域活性化事業(3)	2			
4	地域活性化事業(4)	2		オリジナル の広告考 案	
5	広告・PR(1)	2	地域アピール戦略 ―ことば＋ビジュアル―	課題の洗い出し	
6	広告・PR(2)	2		テーマ選 定・プレゼ ン資料作 成	
7	特別講義	2		相互評価・ フィード バックを受 けてレポー ト化	
8	企画立案(1)	2	企画の立て方・企画書のモデルケース プレゼンテーション準備		
9	企画立案(2)	2			
10	企画立案(3)	2			
11	企画プレゼンテーション(1)	2	各自で立案したオリジナル企画のプレゼンテーション		
12	企画プレゼンテーション(2)	2			
13	企画プレゼンテーション(3)	2			
14	企画プレゼンテーション(4)	2			
15	総括	2	プレゼンテーションをもとにした総括		
期末	期末試験	[1]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	各事例の補足データをチェック			2時間×3	
②	オリジナルの広告考案			2時間×2	
③	課題の洗い出し(宜野座村の事例)			2時間×1	
③	テーマ選定・プレゼン資料作成			2時間×3	
③	相互評価・フィードバックを受けてレポート化			2時間×4	
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は国語Ⅰ(1・2年)、国語Ⅱ(3年)、文学概論Ⅰ(4年)、文学概論Ⅱ(5年)である。 その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分＝1、90分＝2)